



平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
(コード：9318 東証第 2 部)
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
(TEL. 03-5561-6040)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、同日に公表いたしました中期経営計画における平成 31 年 3 月期および平成 32 年 3 月期の数値目標（連結売上高・連結営業利益・連結経常利益）につきましては、今回の修正はございません。今後の経営環境等の変化に応じ、適宜修正・公表してまいります。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益
前回発表予想 (A)	1,030	△362	△386
今回修正予想 (B)	664	△372	△747
増 減 額 (B - A)	△366	△10	△361
増 減 率 (%)	△35.5	—	—
(参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	2,686	△84	△76

2. 修正の理由

今回の修正の主な理由は次の通りです。

- (1) 平成 30 年 1 月 25 日付適時開示資料「関係会社株式評価損（個別）および持分法による投資損失（連結）の計上に関するお知らせ」の通り、当社持分法適用関連会社・Mabuhay Holdings Corporation（フィリピン証券取引所上場）の株式につきまして、簿価に比べて時価が著しく下落したため、のれん未償却残高に相当する 350 百万円を持分法による投資損失として営業外費用に計上する見込みです。ただし、四半期会計期間末における時価のある関係会社株式の評価方法につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、決算期末の時価によっては、本件損失の計上額が変動する場合もしくは本件損失を計上しない場合があります。
- (2) 当社子会社・株式会社 China Commerce が運営する越境 EC サイト「銀聯在線商城日本館」は、従来の PC 向けサイトを平成 29 年 9 月末に終了し、携帯電話向けサイトへの移行の準備をしており、平成 29 年 11 月には試験サイトを開始いたしました。しかしながら、同サイト内の接続試験等に時間を要して

いるため、同サイトの一般向けサービス開始が遅れており、平成 30 年 2 月の開始予定まで同サイトの売上が立たないこととなりました。その結果、当初 367 百万円を見込んでいた同サイト売上高が大幅に低下し、同社の売上が当初計画を大きく下回る見通しとなりました。ただし、販管費削減を実施しているため、営業損失・経常損失は当初計画より縮小する見込みです。

- (3) 当社子会社・株式会社トレードセブンにおける金融事業は、売上高はほぼ当初計画通りですが、営業利益・経常利益は当初計画を若干下回るものと見込んでおります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上